

弥生文化の成立

弥生時代は、日本列島において農耕文化がはじめて開花した時代である。中国大陸や朝鮮南部で既に一定の形に秩序立てられた「稲と鉄」の文化が、足早に日本に広まり、数千年も続いた石器時代はいきなり鉄器時代に移行する。この「稲と鉄」の普及によって、原始社会は急速に変革されていくのである。

○弥生文化の特徴

●「採取」から「生産」へ

紀元前 6500～5500 年頃、中国の長江下流域で稲作が始まった。



約 2500 年前、九州北部で水稲耕作が開始された。

→紀元前 4 世紀、西日本に水稲耕作を基礎とする⁽¹⁾ _____ 文化が成立、

やがて東日本にも広まった（北海道・南西諸島除く）。

⇒紀元前 4 世紀～紀元後 3 世紀を（1）時代と呼ぶ。

◇北海道では⁽²⁾ _____ 文化という食料採取文化が継続

◇南西諸島では⁽³⁾ _____ 文化という食料採取文化が継続



（1）時代は3つの時期「前期・中期・後期」に分かれる。

⇒縄文時代晩期の遺跡に水田跡があり、近年「早期」が追加されつつある。



図1 水稲耕作の起源と伝来



図2 板付遺跡（縄文時代晩期）入口
* 籾（脱穀前の米）の置物

●道具の変化と追加

①金属器の利用

銅と錫の合金である⁽⁴⁾ _____ 器（祭器に利用）と、

⁽⁵⁾ _____ 器（工具・農具に利用）が大陸から伝来した。

②土器の変化

⁽⁶⁾ _____ は、縄文土器よりも高温で焼かれるため、薄手で赤褐色が特徴である。

⇒用途別には、煮炊き用の⁽⁷⁾ _____、貯蔵用の⁽⁸⁾ _____、

食物を盛る鉢・⁽⁹⁾ _____ があった。

③朝鮮系の磨製石器

稲の穂摘み用具の⁽¹⁰⁾ _____ が利用された。



図3 青銅器（銅鐸）



図4 鉄器（鉄斧）



図5 弥生土器「甕（左）」「壺（中）」「高杯（右）」



図6 石包丁

○弥生時代の生活

●水稲耕作

水稲耕作は、前期には湿地を水田に転用した⁽¹¹⁾ _____ で、

中・後期には灌漑施設を利用した⁽¹²⁾ _____ でも営まれた。



田植え作業などには、足が水田に沈みこむのを防ぐ⁽¹³⁾ _____ を着用した。

→穂は⁽¹⁴⁾ _____ による⁽¹⁵⁾ _____ で収穫し、木臼・**竝杵**で脱穀した。

⇒保存用は脱穀せずに⁽¹⁶⁾ _____ に収蔵した。



図7 田下駄



図8 穂首刈り



図9 竝杵

●住居と集落の変化

集落内の住居は⁽¹⁷⁾ _____ が一般的で、^{ほったてばしら}掘立柱の建物も一部あった。
 →多くの集落が、^{ほり}濠や土塁をめぐらせた⁽¹⁸⁾ _____ であった。
 ⇒(18) は防御的な機能をもつため、集落間の衝突があったと分かる。
 ◇防御を目的に山上に立地した⁽¹⁹⁾ _____ もあり
 ⇒(19) の遺跡は、香川県の^{しゅうて}紫雲出山遺跡が有名



図10 環濠集落の濠

●墓地と埋葬方法

集落近くに共同墓地があり、⁽²⁰⁾ _____ という葬法が多かった。
 →墓の種類は一般的に⁽²¹⁾ _____ だが、墳丘をもつ墓⁽²²⁾ _____ なども登場する。
 ⇒大型の墳丘や多量の副葬品をもつ墓があり、弥生時代に身分差が生じたとわかる。
 ◇下図の他に、岡山県の^{たてつき}楯築墳丘墓も有名



図11 土墳墓



図12 箱式石棺墓



図13 _____ (九州北部に多い)



図14 _____



図15 四隅突出型墳丘墓(山陰地方)



図16 _____ (九州北部に多い)

●儀礼

水稲耕作の開始に伴い、収穫を祈る農耕儀礼も開始された。
 ⇒儀礼には⁽²³⁾ _____ と総称される青銅器が用いられた。
 ◇(23) ...⁽²⁴⁾ _____、⁽²⁵⁾ _____、⁽²⁶⁾ _____。

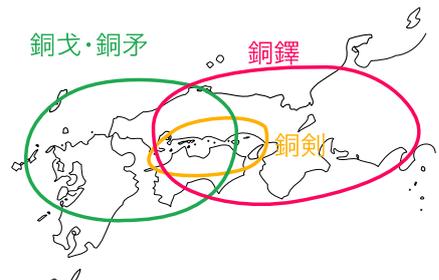


図17 青銅製祭器の分布

分布は右図の通りだが、その分布を覆す遺跡も見つかっていて、
 島根県の⁽²⁷⁾ _____ ・^{かもしわくら}加茂岩倉遺跡が有名である。

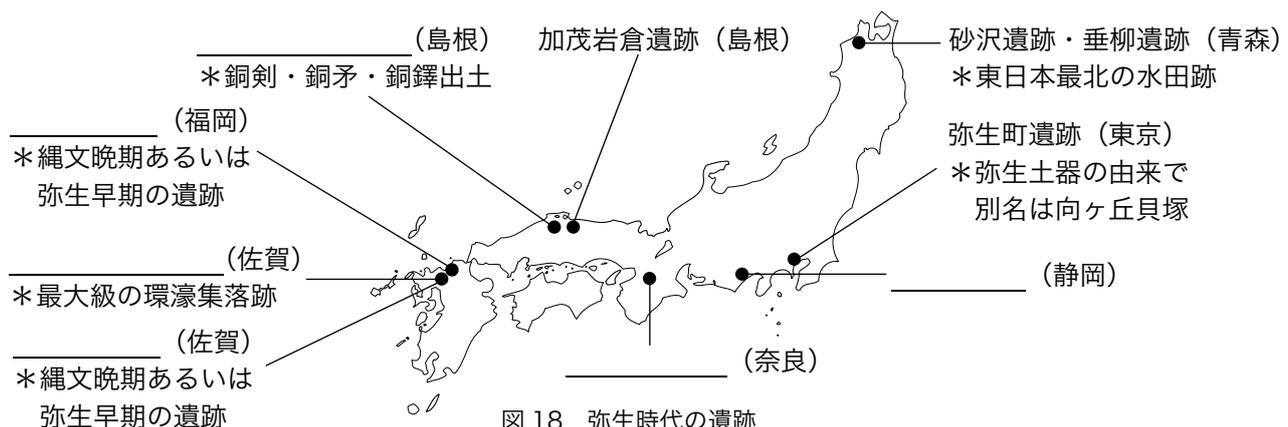


図18 弥生時代の遺跡